

2024年12月18日

各位

三井住友信託銀行株式会社

サステナビリティ・リンク・ローンの契約締結について
(みずほリース株式会社)

三井住友信託銀行株式会社(取締役社長:大山 一也、以下「当社」)は、みずほリース株式会社(代表取締役社長:中村 昭、以下「みずほリース」)との間で、ローン・マーケット・アソシエーション(LMA)(※1)等が策定した「サステナビリティ・リンク・ローン原則」および環境省が定めた「サステナビリティ・リンク・ローンガイドライン」等(以下、総称して「サステナビリティ・リンク・ローン原則等」)に則したシンジケーション方式の「サステナビリティ・リンク・ローン」の融資契約(以下「本件」)を締結いたしました。

サステナビリティ・リンク・ローンは、借り手の経営戦略に規定されているサステナビリティ目標と整合した「キー・パフォーマンス・インディケーター(以下「KPI」)」と「サステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット(以下「SPT」)」を設定し、貸付条件とSPTに対する借り手のパフォーマンスとを連動させ、SPT達成への動機付けを与えることで、環境的・社会的に持続可能な経済活動および経済成長を促進し、支援することを目指すものです。

本件は、みずほリースが2023年10月に策定した「サステナブルファイナンス・フレームワーク」(以下「本フレームワーク」)に基づくものであり、本フレームワークは株式会社格付投資情報センター(代表取締役社長:山崎 宏)より、サステナビリティ・リンク・ローン原則等への適合性についてセカンドオピニオン(※2)を取得しています。



当社では、サステナビリティ・リンク・ローンなどのサステナビリティに関するソリューションの提供により、SDGs達成に資するお客さまのさまざまな事業活動を支援するとともに、お客さまの中長期的な企業価値の向上に貢献することを引き続き目指していきます。

<みずほリースについて>

みずほリースは、「ニーズをつなぎ、未来を創る」との経営理念のもと、法人向け総合金融サービスグループとして国内外で積極的に事業を展開し、持続可能な社会の実現に貢献することを目指しています。環境・社会課題への取り組みの重要性がますます高まる中、優先的に取り組むべき6つの重要課題(マテリアリティ)を特定し、その中のひとつである「脱炭素社会実現への貢献」に対する取り組みを推進すべく、本フレームワークを策定し、本件はSPTとして「2025年度までに再生可能エネルギー発電設備容量1GW確保」を設定しています。

<KPI および SPT の概要>

本件は、以下のKPIとSPTを設定しています。

KPI	SPT	SDGs
再生可能エネルギー発電設備容量(連結ベース)	2025年度までに再生可能エネルギー発電設備容量1GW確保	 

<本件(シンジケートローン)の概要>

契約締結日	2024年12月18日
実行日	2024年12月20日
アレンジャー兼エージェント	三井住友信託銀行株式会社

(※1)ローン・マーケット・アソシエーション(LMA)

欧州、中東、アフリカのシンジケートローン市場の流動性、効率性、透明性を改善することを目的とした協会であり、60ヶ国以上に属する700以上の機関が加盟しています。

(※2)サステナビリティ・リンク・ローン原則等への適合性についてのセカンドオピニオン

株式会社格付投資情報センターのウェブサイトをご参照ください。

<https://www.r-i.co.jp/rating/esg/index.html>

以上